

## 序言

学長 上田祖峯

初代学園長山上曹源先生が曹洞宗大本山永平寺の第二祖孤雲懷辨禪師六百五十回大遠忌の記念事業として、学園創設を建言され、本山七十二世佐玄彝禪師を迎えて創立された。本年は学園創立六十周年を迎えた。本学園に駒沢女子短期大学が設置されたのは昭和四十年四月であるから本年は二十二年になる。

幸い、初代学園長山上曹源先生（昭和十八年駒沢大学学長）、初代学長小川弘貫先生が心血を注いで残された学問研究の情熱はよく継承され、関係諸氏の真摯な研究努力によって、その業績を上げ、本学の輝かしい学風を築いて来たことは、大きな慶びであり、無上の誇りとする所である。

専門分野における学問技術の教育と研究を行うことが短期大学の本来の使命であるが、私学はそれぞれ建学の精神を伝承發揮することにより、大学の社会的責任を果さねばならない。

今回学園創立六十周年を記念して、本学関係の諸氏がそれぞれ研究成果の一端を披瀝し、研究紀要第一より同第二十号にわたる業績の一覧表を添付して、『研究紀要第二十号 記念号』を刊行することになった。各学科その専門分野を異にしつつも、その中から禅の建学精神をいかに發揮するかという意欲が現われ、ようやく本学の色彩が鮮明になって来たことは慶びにたえない。

学園六十年の歴史伝統の一齣として公表し、やがてこれがまた回顧反省の資料となるであろうことを期待しつつ一言述べて序とする。